



今月の表紙は、9月20日に豊坂小学校で行われたすもう大会です。第26代木村庄之助の母校である同校には、昭和57年に建設された立派な土俵があり、毎年すもう大会が行われています。先生にまわしを巻いてもらっている最中、児童の「内に秘めた闘志」が心と現れた瞬間を撮影しました。

## 今月の表紙

# みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報G  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)  
FAX63-5139

## 行って! 見て! 納得! こうたの歴史

### しょうらくじさいこう 正楽寺西郷氏墓所と岡崎(大草)松平家

正楽寺の墓地には前回紹介した高力氏の墓石とならんで、西郷氏の墓石が築かれています。この西郷氏、あまり聞きなれませんが実は凄い一族なのです。室町時代後期に西郷氏の当主であった稠頼は優れた能力の持ち主で、周辺を支配下に治めながら、岡崎市中心部から幸田町大草まで支配しました。そして豊田市の松平郷から南下してきた松平氏に対抗するために、岡崎市明大寺一帯に屋敷を築き、さらに乙川の対岸に砦を築きました。この砦が後の岡崎城です。岡崎城を最初に築いた一族なのです。

この西郷氏の支配していた地域を引き継いだのが岡崎(大草)松平家でした。初代当主の松平光重は父親の松平信光とともに西郷氏と戦います。敗れた西郷氏は岡崎城を松平信光へ譲り、娘(稠頼の孫)を光重に嫁がせて大草へ隠居します。これにより岡崎を本拠地

とした松平家『岡崎松平家』が成り立ちました。その後、松平一族内の主導権争いが起こります。岡崎松平家と安城松平家が戦い、安城松平清康(徳川家康の祖父)に敗れた岡崎松平昌安は岡崎の地を明け渡し、娘を清康に嫁がせて大草へ隠居します。これ以降、大草松平家と呼ばれるようになります。

大草松平家はその後、三河一向一揆では反徳川家康側に付きまします。大草松平家が居城としていた大草城は正楽寺の北側一帯(字寺西)にあったと言われています。

正楽寺には町指定文化財として登録されている西郷稠頼と松平光重の肖像画が残されています。一時代を築きながらも滅んでしまった家の菩提を弔うために納められたものなのかもしれません。

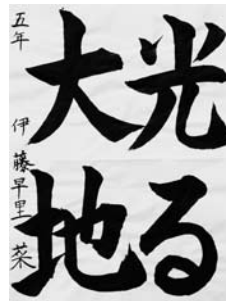
問合せ 生涯学習課生涯学習G  
(内線195)

## みんなの作品展!

第35回 幸田学童書道展からのセレクトです。



6年 西村 有里菜 さん



5年 伊藤 早里菜 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

## 乙川流の方言

「こそべたい」

11月23日。日ごろの感謝を込めて、お姉ちゃんのマツサージなのに、嫌がるお父さん……  
「ほんなとこなせやー、こそべたい。」

「そんな所をなでると、こそべたいよ」  
この意味です。

この「こそべたい」「こそべたい」と「こそばゆら」の合の子みたいですよね。「こそべたい」とは、要するに、体を「こそべる」「こそぶる」によって起きる感覚です。「こそべる」は、「こそべくる」が転じたもので、「こそべくる」は、表面をこすり削る意味の「こそげ」から来たものだそう。つまり、「こそべたい」は、「こそべたい」「や」「こそばゆら」と兄弟、語源は同じなのです。

「こそべたい」は、全国各地にさまざまな方言があります。お隣の尾張では、「こそばい」とか「こそばい」とか言いますが、この地方では、「こそべたい」のほか、「こそべたい」とか「こそばたい」とか「こそばたい」とか言う人もいます。ちなみに、私は「こそばたい」なのです。

(文・こねね)



# はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。  
希望者は企画政策課まで。



## わんぱくどより

「某月某日  
〜里保育園」

### 椿の実拾ったよ!

自然いっぱいにもまれた里保育園の元気な子どもたちが、本光寺に椿の実を拾いに出かけました。

お寺の住職さんと椿のおじさんにお話を伺い、椿の実は、椿油や肥料などになることを知った子どもたち。さっそくクラス対抗で椿の実拾いが始まりまし

た。「あつーここにありー」「こつちにもあるよー」と夢中で拾い集め、園からもってきたペットボトル



は、あつという間に椿の実でいっぱいになりました。「この中にも入ってるよー」と殻の中に入った椿の実を一生懸命だしている子もいました。

重くなったペットボトルの容器をみて、大満足の子どもたち。拾い終わってから、椿のおじさんに椿油を手



がつるつるになった!「私はほっぺがさくらさくら!」と、大興奮!また、たくさんの椿油をつくってもらうため、拾った椿の実をせくぐぶ椿のおじさんに渡し、「また、たくさんつくってね!」とお願ひしてきました。とっても楽しかった椿の実拾い。「また行きたいね!」と帰り道の会話も弾んだ里つこの子どもたちでした!

## 青春トークリレー

△△第236走者△△



### しが ゆうじ 志賀 勇司 さん

岩堀区在住 21歳

身長 172cm 血液型 O型

好きなタイプ ポクをつまらないボケに優しくツッコミを入れてくれる人

好きな芸能人 芸能人ではないけど、ファミマのマネージャー

僕は今、ファミリーマート幸田菱池店でアルバイトをしています。接客業は初めての経験ですが、非常に多くのことを学ばせていただきました。また、お客さまから「ありがとう」と言っていたいた時は、接客業の楽しさと喜びを感じています。店長をはじめ、スタッフの皆さんには心から感謝しています。

これから始まる就職活動にも、この経験を活かして、人に喜んでもらえるような仕事に就きたいとします。最後に、これを読んでもくださった皆さん、ぜひファミリーマート幸田菱池店にお越しただいて、僕の接客を体験してみてください。お待ちしております。

## ちよと編集者のひびく

▼今年もベストジュニアスト賞を見事に逃した編集者の(T)です。編集者はさておき、先日ノーベル賞の受賞者が発表され、医学生理学賞を山中伸弥さんが受賞。日本人の受賞としては19人目です。ここでノーベル賞の豆知識を。ダイナマイトの発明者ノーベルの命日である12月10日にスウェーデンやノルウェーで授賞式が行われ、受賞者には賞金の小切手、賞状、メダルが授与されます。「ノーベル基金からノーベル賞として交付される金品」は約1億円ですが、日本ではこの賞金は非課税。実は、日本人として初めてノーベル賞を受賞した湯川秀樹さんが賞金を受け取る時に国内で論議が起り、法律が改正されました。しかしなんと、ノーベル賞(全部で6部門)のうち、経済学賞だけは課税対象です。先に「ノーベル基金からノーベル賞として交付される金品」とわざわざ書いたところがミソ。簡単に言うと、経済学賞だけは賞金元がノーベル基金ではないのです。さらに、6部門で唯一、経済学賞だけは日本人受賞者がいません。受賞者が出た時に改正されるのでしょうか☆  
10月21日、ついに「幸田町少年少女発明クラブ」の発足式が行われ、多くの児童が参加しました。幸田町から未来のノーベル賞受賞者が生まれるかもしれません☆  
今からドキドキです!このドキドキ誰かためて!某曲のロマンティックばりに、とめて☆(T)